

事業の名称：若手グループ「笑顔（スマイル）」による幡屋ファンづくり事業

団 体 名	幡屋地区振興会	事 業 費	200,456 円
代 表 者	荏田 進	補助金交付額	200,000 円

現状と課題

地域の自治活動や行事の運営などは、60 代以上の住民に依存しているケースが多く一方で、若者世代や子育て世代は、「地域のために」という漠然とした動機では参加が広がりにくい。移住者や若者、外国人など、多様な背景を持つ人材を受け入れる地域側の意識や体制整備が不十分である。

事業の目的

多様な世代や団体、関係人口などが興味関心・多様な価値観を体现できる場を創出し、地域への関わりしるを構築することを目的に実施する。

実 施 内 容

◇実施状況

①幡屋体育館感謝祭

感謝祭イベントで、多様な世代や団体、地区外の外部人材を巻き込みながら、それぞれの興味関心をベースに楽しい・嬉しい気持ちになれる場をつくり、それぞれが一過性の関係性に終わることなく、イベント終了後も“協働”のパートナーとして関係を構築していくことを目的に実施した。



②幡屋ファンつながり創出

夏休みや冬休み期間中など、子どもたちが楽しむ企画を行い、多世代が関わる場をつくった。

◇成果と課題

○幡屋地区内外から約 500 名が参画し、世代や立場、地域を超えた交流の場を創出できた。

○各事業を通じて、世代や地区内外を越えた交流の場を創出し、幡屋地区への共感や関心を高めることができた。

○多くの参加を得られた一方で、イベント終了後の継続的な関係構築や協働につなげる仕組みづくりが課題として残った。

